

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2616回★ 初登山 天ヶ瀬森林公園 から槇尾山	1月10日(祝・月) AM9:00 京阪電車 宇治駅 改札前集合	清水 康裕 堀田 剛 松田誠二(内線5802)	京阪宇治駅…宇治上神社… 宇治神社…天ヶ瀬ダム… 天ヶ瀬森林公園…槇尾山… 天ヶ瀬森林公園…京阪宇治駅
備考・参加費用 500円 ぜんざいをしますので、もちを持参願います。 ・地図 国土地理院1/2.5万図「宇治」 ・参加希望者は担当者まで連絡してください。			
第2617回★ 橿原神宮初詣と 大和三山	1月16日(日) AM8:50 近鉄電車 京都駅 2階改札口前集合	岡田 茂久	
(各自、橿原神宮前駅まで乗車券購入願います。¥950.-) 近鉄京都駅(9:10)橿原神宮前行 急行乗車—近鉄橿原神宮前駅～橿原神宮～畝傍山～ 天香具山～藤原宮跡～耳成山～近鉄大和八木駅			
備考・レンタサイクル使用予定です。 ・歩行走行距離約11.5km、累積登高差約300mです。 ・地図は担当者が用意します。(参考 1/2.5万図「畝傍山」) ・参加希望者は担当者へ連絡してください。			
第2618回★ 白馬山麓 梅池スキーと 岩岳スキー	1月29日(土) ～31日(月) 29日AM6:00 担当宅 五条通を東に行く	吉田 武	
29日 京都—名神高速—北陸道—糸魚川IC—R148—梅池スキー場— 北條新田 やど「やまひら」泊まり 30日 岩岳スキー場で終日スキー やど「やまひら」泊まり 31日 岩岳スキー場で午前中スキー 帰路			
備考・やど 「やまひら」 長野県北安曇郡白馬村北條新田 TEL 0261-72-2358 ・費用 30,000円 ・参加希望者は担当者へ必ず連絡してください。			

<p>第2619回★ 鎌倉山 △950.5m 峰床山 △970.0m</p>	<p>2月5日(土) AM7:45 出町柳 京都バス乗車</p>	<p>井戸 澄夫</p>	<p>出町柳—坊村…鎌倉岳… オグロ坂峠…峰床山…八丁平 …葛川中村—出町柳</p>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スノーシューまたはワカンを必携です。積雪状態を見て行動を決定します。 ・参加希望者は担当者へ連絡してください。 			
<p>第2620回★ 信楽の山 深堂山 595.9m 三角点 616.6m</p>	<p>2月12日(土) AM7:00 竹田駅西口集合</p>	<p>吉田 武</p>	
<p>竹田駅西口—京都南IC—信楽IC—R307 信楽町下朝宮—信楽町大西—林道5km 駐車… 深堂山595.9m…三角点616.6m…林道—信楽町大西—信楽IC—京都南IC—竹田駅西口 解散</p>			
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地 図 1/2.5万図「信楽」 ・装 備 日帰り登山装備 ・参加希望者は担当者へ連絡してください。 			
<p>第2621回★ 府民 野鳥観察会 宝ヶ池周辺</p>	<p>2月20日(日) AM9:00 地下鉄 国際会館駅 5番出入口前 (宝ヶ池方面) 集合 雨天の場合 2月27日(日)に延期</p>	<p>岡田 茂久 方山 宗子</p>	<p>地下鉄国際会館駅5番出入口 …宝ヶ池周辺(探鳥)…正午頃 地下鉄 国際会館駅 解散</p>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目 的 身近な冬鳥を観察しながら、春を見つけ、季節の移ろいを感じる。 自然保護について考察を深めるきっかけとする。 ・持 ち 物 防寒具、双眼鏡(あればフィールドスコープ)、筆記具 ・参 加 費 500円(資料代、講師謝礼を含む) ※今回は保険に入っていないので、事故、怪我などは自己責任です。 ・講 師 日本野鳥の会京都より(予定) ・雨天の判断 当日朝7:30までに担当者にお問い合わせください。 ・参加希望者は2月13日(日)までに担当者へ必ず連絡してください。 			
<p>今月の集会(新年会)</p> <p>日 時 1月7日(金)18:30～ 場 所 「かごの屋」(四条烏丸下ル) 詳細は雑報をご参照ください。</p>		<p>企画運営委員会</p> <p>日 時 1月21日(金)18:30～ 場 所 holly's café(ホリーズ カフェ)</p>	



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

今年も暖冬かと思って気を許していたら、年末が近づくとつれ、突然寒波が押し寄せ、思わず室内に引っ込んでしまうほどの寒さに見舞われた。

ところで、「山男」とは♪娘さん良く聞けよ山男にゃほれるなよ～の歌詞を始め、いたるところでごく一般的に男性の山ヤをそう呼んでいるのは言うまでもないが、最近、「山ガール」の文字をよく目にする。単に山行く女性をそう呼ぶのではなく、カラフルなバッグにレギンス、山スカートなどかわいく斬新なファッションに身を包み、山登りやハイキング等に繰り出すアウトドア女子を称して「山ガール」と呼んでいるようである。雑誌やメディアで特集が組まれるだけでなく、新たに「山ガール」向けの雑誌もいくつか出版されている。ハイキング願望やアウトドア意識の高い人に興味を持ってもらう狙いがうかがえる。雑誌の売り上げも上っていることから、今年は更に幅広い世代で山登り人気を上りそうである。

我が部においても現有部員を中心に、新たな山仲間を少しずつ増やせる年にしたいと願うところである。

1月7日(金)には四条烏丸“かごの屋”で新年会が開催される。1月10日(月)には、初登山があり、京阪宇治駅から槇尾山を目指す予定である。まずはこれら年頭行事に集い、共に新年を祝いたいと思う。

(2010. 12. 27 by MatsuKen)

【第2610回例会報告】

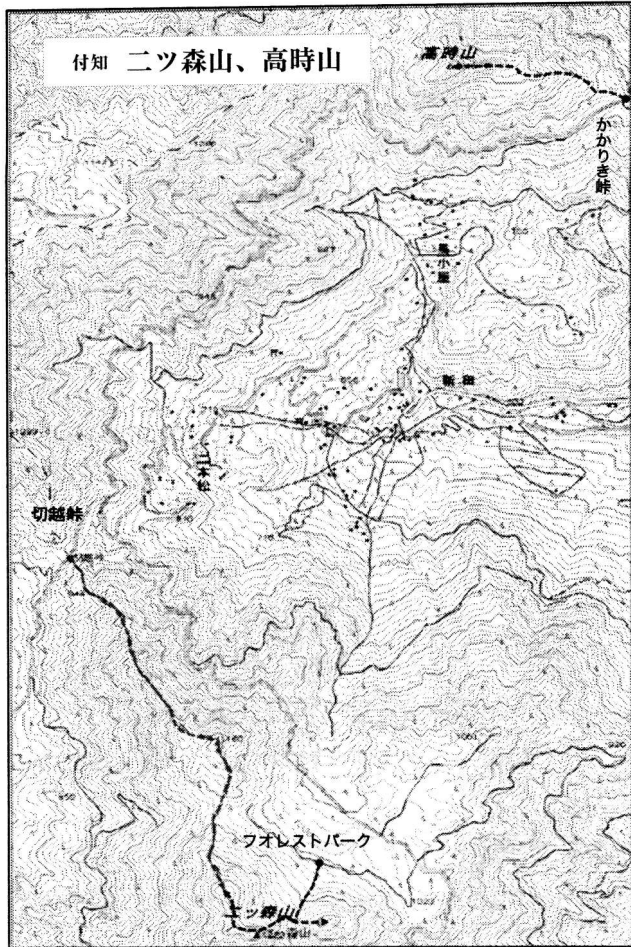
木曾付知周辺の山旅 (二ツ森山, 高時山(付知), 高時山(加子母))

岡田茂久

以前から信州方面へと中央高速を走行するたびに、中津川辺りで見えてくる気になる山があった。「二ツ森山 1223m」, 登った話を聞くと山頂には巨岩が鎮座し、三角点は巨岩の上に埋めこまれているという。想像するだけで楽しそうである。地図を調べてみると古くからの林道が近くまで通じ簡単に登れそう。何処かの山の帰りの駄賃に寄ってみようと思いつきながらも、今まで登る機会が無く大きさに言うと思えば何十年の久遠の山であった。

今回、思い切って例会にしてみたが、二ツ森山だけではもったいないと、近辺では未踏の「加子母の高時山 1563m」も一緒にと計画したが、地図を眺めているうちに、今一つ、二ツ森山の近くにも「高時山 1086m」があるのではないかと、それでは三山を纏めてということになり、しかも温泉泊りでという例会になってしまった。

11月6日, 6:30に我が家を出発, 京都東ICに向かう途中, 参加者を順次ピックアップし京都東ICを7:30にゲートイン。



【ニツ森山、高時山（付知）】

中津川 IC には 10:30 に到着。市内のコンビニで弁当を調達、下呂温泉へ通じる R257 を北上、たしか有料であった城山大橋は無料で通過、見佐島交差点で右折し、舗装はしてあるものの新田の集落からは狭い林道を登る。当初は切越峠から登るつもりであったが、高時山へ登る時間も考慮し、最初の分岐を左折しニツ森林道を経てフオレストパークから取り付くことにした。フオレストパークの林道終点は駐車場にトイレも完備された登山口である。車がすでに 5 台ほど駐車してある。結構人気のある山らしい。

登山口からは階段も整備してある。5 分程で「氷餅池」、江戸中期に氷餅（餅を凍らして粉末としたもの）を兵糧として幕府に献上する作業場があったという。

階段は東峰と西峰を分けるコルまでで、まず東峰に向かう。東峰は単なるコブであるが、見晴らしの良い展望小屋が設けてある。南、中央アルプスから付知の山々、恵那山の山容が身近

に望める。三角点のある西峰は混雑が予想されたのでここで昼食とする。分岐まで戻って西峰の登りに掛かるが木の根がはびこる急登である。

西峰のニツ森山頂上は想像していた通りの山頂であった。巨岩の上に三角点が鎮座している。東峰に勝る展望で



ニツ森山頂

西方面には秀麗な笠置山が直近に望め、北面は深紅の紅葉を前景に御岳が白く輝き眺めは尽きない。小春日和で三角点でトカゲでもしたいような気分になったが、今日中に近くとはいえ「高時山 1086m」も稼ぐつもりなので重い腰を上げる。切越峠から登ってきた登山者が青い顔で「熊がおった」と話している。熊とは遭遇したことが無いので一度は相對したいとは思いますが、「君子危うくには近寄らず」早々に下山する。登山口には中型の観光バスで乗り付けた大パーティが登山支度をしていた。

高時山 1086m へはニツ森林道から分岐して、山腹をほぼ水平にうねる林道を北上して「かかりき峠」から取り付く計画である。しかし、林道分岐に来ると「作業中に付き通行止め」の看板。迂回路は馬小屋集落からの林道があるが通行可能かは不明である。土用なので作業は無いだろうと思案していると、どこからともなく現場監督風のおじさんが現れ「通れるよ」と言ってくれる。「有難う」しかし一抹の不安はあった。果せるかな「かかりき峠」近くで伐採作業が行われ、作業員がユンボを林道上で補修中であつた。作業員が不服そうに車をよけてくれただけでも満足すべきであろう。

「かかりき峠」からの高時山登山口は、林道切開きの崖にある崩れた踏跡である。崖を登るとかすかな踏跡が植林の中に続いている。熊よけにホイッスルを吹きながら進むが、踏跡はいつか藪の中に

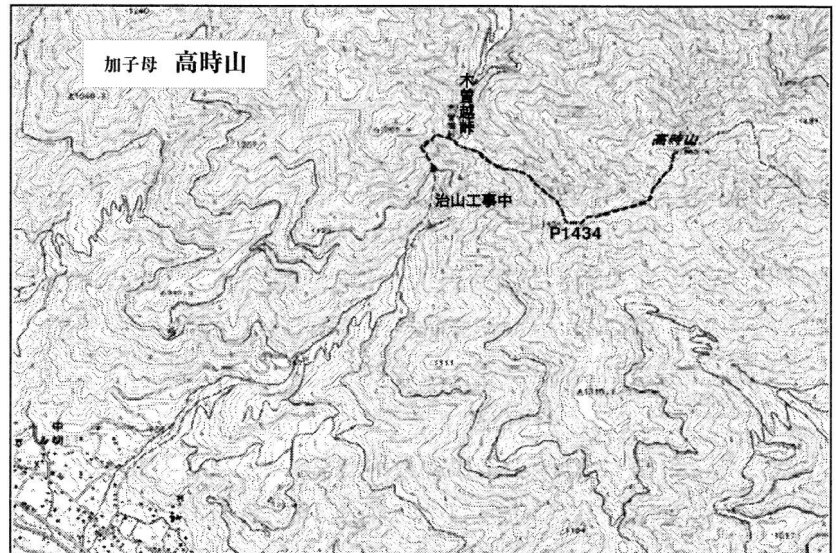
消え去り、高みを目指し枝を折りながら藪をこぐ、往年の奥美濃の藪を思い出し嬉しくなったが、やがて疎林となり高時山 1080m 頂上に到達。朽ちた小さな鳥居と小さな祠があり、それでも登山者があるのか新しい標識が掛かっていた。展望は南方面だけが切り開かれ、二つ森山から切越峠の稜線が望まれるだけである。

泊りは当初「渡合温泉」等の近辺の鄙びた温泉を考えたが、この頃は快適な宿の方が良くなり、今回は湯快リゾートの恵那峡国際観光ホテルを選んだが、リーズナブルで食事も露天風呂もなかなかのものであった。



【高時山 (加子母)】

ホテルは 8:00 発だが時間も余裕があり、恵那峡大橋畔の公園から秋色の朝もやが立ち込める恵那峡を見学。昨日と同じ R257 を北上し付知町の道の駅、コンビニに寄り道、賽の神トンネルを抜け加子母町に入る。上桑原で道を訪ねたが要領を得ないまま林道に入った処で「木曾越峠」の標識を発見し、これこれと林道を分け入るが、最初の舗装も途中からはダートなり、それもかなり酷いもので慎重に高度を稼ぐ。ナビは役に立たず、おまけに分岐が多く地図をにらみながら、どうやら路傍に「木曾越峠」の標識のある林道終点に到達。林道終点では治山工事中で国道から見上げると谷の詰め稜線近くに見えたガレの補修工事らしい。大規模な索道も設置されている。



「木曾越峠」の標識に従い植

林の中の登山道を辿るがかなり急登である。稜線に飛びだして驚いた。相当に車が通行しているらしい轍のある立派な林道である。我々は木曾越峠への林道を間違えたらしい。

登頂後に峠まで降りたとき、軽乗用車で登ってきていたお年寄りに聞くと、加子母大橋の畔から入るということである。加子母大橋なんて大きな橋があったかな、どうやら西北の唐塩山中腹を大きく迂回する林道らしい。地図では加子母、付知の山域は林道がクモの巣のように縦横に入り乱れて付けられている。需要から建設されているのだろうが、まず地元の人で山仕事関係の人以外、まともに走るのは無理な感じである。

木曾越峠は渡合温泉に越える林道工事で大きく削られているが、それでもわずかに残された旧道は往古の趣を残している。古びた地蔵さま二体と峠の向こうにそびえる御岳は絵になる情景だ。

高時山への登山道は林道切開きの側壁に付けられた歩道を登る。





高時山頂上



加子母の明治座舞台

峠の上にはシラビソの大木が残り木曾の山らしい雰囲気があった。ここからの展望も素晴らしい。治山工事がなされている崖の縁をへつり、再び木曾越峠から伸びてきた林道に出る。眼下に加子母の町が一望に広がっている。林道を越え緩い登りのルートとなると、あの懐かしい森の匂いが漂ってくる。尾根道を P1343 で大きく右に曲がり、一旦下るが高時山直下の最後の急坂を越えると、正面に紅葉の裳裾を引いた白銀の御岳が小秀山を前景に、眼前一杯に飛び込んできた。高時山 1563m 二等三角点、我々のパーティだけで気ままに山頂を独占する贅沢。1 時間も滞留したであろうか、名残を惜しみながら駐車場所の林道に下山した。ダートの林道の下りは「降りて歩けよ」と脅していたが、懸念するほど無く無事 R257 に合流。

R257 を中津川に戻る途中、加子母で「明治座」の看板を見つめる。こんなところで何だろうと立ち寄ったところ、なんと回り舞台も備えた見事な芝居小屋があった。今も現役で営業しているという。舞台下の奈落から楽屋まで全て案内してもらえる。楽屋の壁は役者のサインだらけで有名役者の名も見られた。保全協賛金 200 円、この方面を通りがかりの際はぜひ見学をお勧めする。

【参加者】 森本清一、鷺見壽末子、方山宗子、渡辺智生 F 1、吉田武、岡田茂久

【時間記録】 11月6日(土)

11:30 二つ森フオレストパーク駐車場発…10:55～11:25 二つ森東峰…
12:50～13:10 二つ森山二等三角点 1223.3m (西峰)…13:25 駐車場着
14:20 かかりき峠発…14:50～15:35 (付知) 高時山三等三角点 1085.5m…
15:25 かかりき峠着

11月7日(日)

10:30 治山工事林道終点発…10:50～11:00 木曾越峠…11:25～11:40 P1343
12:00～13:00 高時山二等三角点 1562.8m…13:40 木曾越峠…13:55 林道終点着

【第2612回例会報告】

府民 紅葉観察会

岡田茂久

22年11月14日(日) 京都府山岳連盟自然保護委員会主催の「府民 紅葉観察会」で、京都一周トレイル北山西コースから梅尾～鷹ヶ峰千束と歩きました。

梅尾 JR バス停に 9:00 集合。参加者は担当の自然保護委員を含め 49 名。当部からは三橋、方山、岡田が参加しました。当初は鷹ヶ峰千束から高尾の予定でしたが、紅葉シーズンということで、混雑が予想されることから逆コースを選定したものです。京都一周トレイルコースということで小生が案内先導を受け承りました。

9:30、まだ時間が早いことでもあり、観光客もまばらな紅葉最盛りの高雄白雲橋から福ヶ谷林道を登ります。歩き始めの急坂の林道はしんどいもので参加者の口数も少なく、高鼻町方面林道分岐で

一服、ようやく調子も出てきてにぎやかになり、続く「ホトクリ峠」までの急坂は一気に登りつめます。天候は上々で尾根に辿りつくと朝の光を透した紅葉は何とも美しい。半透明のコシアブラの葉を透す何とも優しい光。かさこそと落ち葉を踏みわける晩秋の山道は、ふわふわとクッションも良く気持ちの良い歩き心地。

小春日和の沢ノ池で昼食、池の対岸は紅葉と同時に「松枯れ」や「なら枯れ」の木々も散見、赤茶けた枯れ葉が目立ちますが、沢ノ池畔の黄葉の林道は毎年見応えがあります。

沢ノ池から上の水峠までの林道は、中川集落の方々の手できれいに整備が進み、明るい雰囲気となっています。京都市内の展望の良い上の水峠も、7月のゲリラ豪雨で峠道が崩落しましたが、トレイル委員会メンバーの尽力で立派に補修が進み、歩き易い道に変わっています。上の水峠の分岐からトレイルコースと別れ坂尻に下りましたが、坂尻、千束の天神川上流の紅葉もそれはとても見事でした。

このコースで見られる紅葉の美しい木々を挙げておきます。

【参加者】三橋勉、方山宗子、岡田茂久、他46名

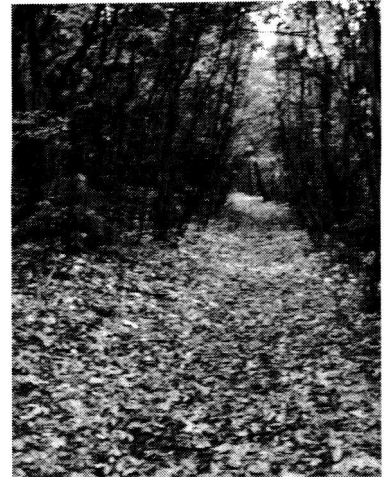
紅葉：(ヤマモミジ、イロハモミジ)・(ニシキギ)・(ツタウルシ、ヤマウルシ、ヌルデ)・(ヤマツツジ、レンゲ

ツツジ、ドウダンツツジ)・(ツタ、ヤマブドウ)・(ヤマザクラ、ウワミズザクラ、ナナカマド)・(ガマズミ)・(コシアブラ)・(タラノキ)・(ミズキ)・(クロモジ)・(タカノツメ)

黄葉：(イチヨウ)・(ヤナギ、ポプラ)・(ニレ)・(イタヤカエデ)・(ウメモドキ)・(ノリウツギ)

褐葉：(ブナ、ミズナラ、カシワ)・(ケヤキ)・(トチノキ)・(スズカケノキ)

針葉樹の褐葉：(メタセコイヤ、カラマツ)



【第2613回例会報告】

丹波 虚空蔵山・八王子山

井戸澄夫

2010年12月4日 晴れ

晩秋の里山の風情を楽しもうと、丹波の虚空蔵山に登ることにした。この山域には丁度2年前に、北隣の白髪岳と松尾山に登っている。

竹田駅西口を出発して名神高速の京都南ICゲート入り口まで行ってしまい、あわててブレーキをかけた後続車に追突されそうになった。この間違いを何度もしているのが情けない。久世橋通を西に洛西ニュータウンまで行き、沓掛から京都縦貫道に入り、亀岡からR-372で天引峠トンネルを抜けるのが丹波篠山への最短コースである。来年に京滋バイパスと京都縦貫道が連絡すれば、さらに早く行けることになる。途中、コンビニに寄って約2時間で登山口に到着した。

JR福知山線「あいもと」駅に沿って狭い旧道があり、古い農家の集落がある。鎮守の社が酒垂神

社である。この地は篠山ではなく三田市域に入っており、福知山線の複線化や舞鶴自動車道の開通、ニュータウンの建設などが進み神戸・大阪への通勤圏となってきた。酒垂神社の背後の山が虚空蔵山であり、篠山市との境にあり、山を越えれば丹波立杭焼きの里である。田畑の中を通る表参道を進み、舞鶴自動車道をくぐる場所に車を置く。少し歩くと虚空蔵山への案内標識があり、そこから谷沿いに登る。30分ほど進み、苔むした石段を登り切ったところが虚空蔵堂である。もとは聖徳太子が建立したといわれる虚空蔵寺の跡であり、山名の由来ともなっている。明治の廃仏棄釈で廃寺となったが、後に村人によりお堂が再建され虚空蔵菩薩が安置された。ここから山道らしくなる。急坂であり広葉樹の自然林である。役行者の石像や丹波岩を過ぎて40分ほどで山頂に着く。三角点は無く592mの標高である。南側の三田方面の眺望がよい。ゴルフ場やニュータウンが点在して開発が進んでいることがわかる。山々は全体が鈍い茶紅色で初冬のやわらかい陽射しに輝き、のどかな里山の雰囲気か漂っている。春の新緑燃える季節もよいが、晩秋のくすんだ落ち着いた季節もよいものである。

暫しのんびりして、まだ早いので更に尾根道を北にたどり八王子山を目指した。小ピークを2つほど越せばよいのだが、途中、巻き道らしきものがあつたので、楽をしようと思って行ったところが下山路だったので、あわてて尾根までやぶ漕ぎして戻った。尾根の雑木はほとんど葉が散っていた。1時間ほどで着いた八王子山は、標高496mで三等三角点があつた。三角点の山にしては樹木が密生して眺望が悪いが、風を避けれるので昼食をとるには都合よかった。

帰りはもと来た道に戻つたが、虚空蔵山までの約100mの登り返しが急登で少々きつかった。ここで本日初めて我々以外の登山者に遭遇した。単独行の老人であつた。その後、登山口に戻るまでに数組の登山者にすれ違った。皆、軽装で散歩がてらというような人達であつた。京都ではさしずめ大文字山か將軍塚といった感じである。

登山後の温泉は丹波立杭焼きの里、今田町にある「こんだ薬師温泉 ぬくもりの湯」を利用した。大きな露天風呂が気持ちよい。(入浴料700円)丹波焼き販売店や、手作り体験工房などが併設されている。帰路は京都縦貫道が無料となつてから渋滞が多発するようになったが、沓掛出口で少し渋滞しただけで比較的すんなりと帰れ、地下鉄十条駅で解散した。

【参加者】 森本清一、渡辺智生、井戸澄夫(3名)

【コースタイム】 12月4日(土) 晴れ

8:00 竹田駅西口(久世橋通・京都縦貫道) 亀岡IC → (R372) → あいもと駅 → 10:00 登山口 …
 10:30 虚空蔵堂 … 11:10 虚空蔵山(592m) … 12:20 八王子山(三等 △496 昼食) 12:55 …
 13:55 虚空蔵山 … 14:25 虚空蔵堂 … 15:00 登山口 → 15:20 こんだ薬師温泉入浴 16:20 →
 19:00 京都地下鉄十条駅

例会報告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2610	木曾付知周辺の山旅 二ツ森山 2つの高時山	11月6日 ～7日	晴	岡田 茂久	森本 清一 鷺見壽末子 方山 宗子 渡辺智生F1 吉田 武	(別稿詳報)

2612	府民紅葉観察会 京都一周トレイルコース (沢山方面)	11月14日	晴	岡田 茂久 方山 宗子	三橋 勉 他 46 名	(別稿詳報)
2613	丹波 虚空蔵山	12月4日	晴	井戸 澄夫	森本 清一 渡辺 智生	(別稿詳報)
2614	星のブランコ	12月12日	曇	岡田 茂久		暖かくなる頃に延期します。
2615	納山祭 朝来山 虎臥山	12月18日 ～19日		清水 康裕 岡本 義弘 吉田 武	井戸 澄夫 岡田 茂久 方山 宗子 堀田 剛 森本 清一 渡辺 智生	(次号報告)

雑 報

△△△ 12月の集会

日 時 12月10日 (金) 18:30～

場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)

出席者 井戸, 岡田, 方山, 河村, 三橋, 森本, 吉田, 渡辺, 和田, 清水 以上10名

内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 11月の企画運営委員会

日 時 11月19日 (金) 18:30～

場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)

出席者 井戸, 吉田, 清水 以上3名

内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報 (受贈分)

12月号 北山, 京都山岳, 趣味の登山, 青嶺, 比良山岳, 木雞, わっぱ

12・1月号 山友

△△△ 平成23年1月集会兼新年会のお知らせ

担当者 松田 誠二

清水 康裕

堀田 剛

日 時 平成23年1月7日 (金) 18:30～

場 所 「かごの屋」四条烏丸下ル 地下鉄四条駅6番出入口前 TEL 075-353-8936

※京交山岳部 清水名で予約しました。

会 費 5,000円 (当日徴収)

参 考 参加希望者は, 1月4日 (火) までに必ず担当者まで連絡をお願いします。

△△△ ホームページ

インターネットに接続可能な環境のパソコンをお持ちの方は次のアドレスへ接続するか、「京都市交通局山岳部」で検索すれば当山岳部ホームページから早めに情報を得られたり、部報に掲載されていない写真等を見たりもできます。

京交山岳部ホームページのアドレス <http://kkmc.web6.jp/>

△△△ 岳連からのお知らせ

1. 平成22年度積雪期指導員研修・登山講習及び遭難救助訓練について

期 日 平成23年2月25日(金)～27日(日) 2泊3日(車中泊を含む)

会 場 伯耆大山 元谷避難小屋周辺及び登山ルート

参加費 ①加盟団体員 2,000円 ②加盟団体員以外 2,500円

詳細及び申し込み 下記の京都府山岳連盟ホームページ(当山岳部ホームページとリンク有)を参照されるか、清水 まで連絡してください。

締め切り 申し込み締め切りは、平成23年2月20日です。

2. 山スキー・スキー愛好者交流会について

期 日 平成23年3月13日(日) 8:30 高鷲スノーパーク集合

会 場 高鷲スノーパーク～大日ヶ岳(1,709m)

参加費 ①指導員 1,000円 ②指導員以外の加盟団体員他 1,500円

※保険には各自加入してください。

詳細及び申し込み 下記の京都府山岳連盟ホームページ(当山岳部ホームページとリンク有)を参照されるか、清水 まで連絡してください。

締め切り 申し込み締め切りは、平成23年3月10日です。

記

京都府山岳連盟ホームページ

「京都府山岳連盟」で検索するか、

アドレス <http://www4.plala.or.jp/kyoto-gakuren/> で接続してください。

3. 平成23年度ヒマラヤ登山について

期 日 平成24年3月31日～5月1日の予定

対象の山 トレッキングピーク

パルチャモ(6,273m)

参加対象 京都府山岳連盟加盟団体員

概算費用 400,000円(期間約30日)

※ 登山終了後トレッキングをされる場合、別途費用が必要です。

現地エージェントは、京都府山岳連盟の過去の装備を預けてある関係から、コスモトレックに委託します。

4. 望武小屋解体撤去について

長い間皆様に親しまれてきました望武小屋も現在は使用不可能にまで荒廃してきました。小屋の荒廃は登山者、強いてはこれまで利用された皆様の高齢化が原因と思われます。環境問題もあり原状回復でお返しいたします。長い間ご利用頂いた方を含めて、皆様が解体作業に携わって頂くようお願いいたします。

現場確認及び調査 12月21日（火）、26日（日）

解体作業 1月4回、2月4回、3月4回、4月4回

現場確認及び調査や解体作業に携わって頂ける方は、清水 まで連絡願います。

5. 山岳遭難防止のための5箇条について

平成22年12月に京都府警察本部地域部地域課が次のとおり5箇条を打ち出されましたので周知願います。

山岳遭難防止のための5箇条

京都府下での山岳遭難の多くは、中高年層。また、装備不備や道迷いが目立ちます。楽しい登山も一步間違えば大変な事になりかねません。登山者の方は、最低限、これだけは守って安全登山を心がけてください。

1) 無理のない計画をたてる

山の実態をよく調べ、皆様の経験、技術、体力に応じた山を選び、無理のない日程（行動）を組むことが大切です。「昔は、できた」、「まだ、できるはず」と思わず、**全て**は皆様の「今の体力」を基に考え、余裕を持った計画が大事です。

2) 単独登山は厳禁

万が一の場合、救助要請すらできなくなります。できるだけ**パーティを組んで**登山するようにしてください。

3) 装備の充実

装備品の不備・欠陥は遭難に直接結びつくことから、事前点検と使用方法を熟知するとともに、天候や気温の急変など、厳しい自然環境に耐えうるような装備を準備することが大切です。余裕のある食料、防寒具、ヘッドランプ、地図、磁石、ラジオ、無線機、携帯電話（十分な充電と予備電池も忘れずに）、ビバーク装備等を携行し、エスケープルート（逃げ道）を調べておくなど、計画に併せて準備してください。

4) 当日の天候確認

入山前、入山中は、必ず天候を確認し、悪天候が予想される場合は、冷静に判断して、**勇気ある早めの決断**で登山を中止してください。

5) 登山計画書の提出

登山計画書は、万が一のとき捜索救助活動の重要な手がかりとなる、いわば登山者の「命綱」ともなります。入山前に必ず提出して下さい。

登山先に決まりはありませんが、適切な提出先がわからなければ、ご家族の方に提出していただくか、近くの交番、警察署又は警察本部に送ってください。